



Fiery proServer ユーザーガイド

© 2024 Fiery, LLC. 本書に記載されている情報は、本製品の『法律上の注意』の対象となります。

2024年4月21日



目次

はじめに	5
Fiery proServer の接続	5
Fiery proServer Premium へのネットワークとプリンターの接続	6
Fiery proServer Premium の前面パネル	7
Fiery QuickTouch	7
Fiery proServer を起動、終了、リブートする	8
Fiery proServer の言語を変更する	10
Fiery XF server のソフトウェアをアップデートする	11
Fiery XF server を起動する	11
Command WorkStation の言語を変更する	11
Fiery proServer システムのバックアップ/復元	12
Fiery System Tools	12
Fiery proServer システムのバックアップ	13
Fiery proServer の復元	13
Fiery proServer を工場出荷時の状態に戻す	14
USB メディアキットを使用した Fiery proServer Premium システムソフトウェアの再インストール	15
Fiery XF server ライセンスのアクティベート	15
ライセンスを管理する	16
ウイルス対策ソフトウェア	16
Fiery proServer のトラブルシューティング	16
Fiery proServer の設定を確認する	17
インターフェイス接続の確認	20
破損したシステムソフトウェアのトラブルシューティング	20
取扱説明書のダウンロード	20
Fiery XF server のオンラインヘルプ	21

はじめに

本書では、Fiery proServer を接続して設定し、設置後に良好な動作状態を維持する方法について説明します。次のトピックが含まれています。

- Fiery proServer の接続
- ハードウェアコンポーネント (Fiery QuickTouch を含む)
- Fiery proServer の起動、終了、およびリブート
- Fiery proServer の言語の変更
- Fiery proServer ソフトウェアのアップデート
- Fiery proServer ソフトウェアの起動
- Fiery proServer システムのバックアップ/復元
- Fiery proServer ソフトウェアのライセンス
- ウイルス対策ソフトウェアの使用
- トラブルシューティング
- Fiery proServer の取扱説明書とヘルプ

Fiery proServer の接続

必要なケーブルとコンポーネントは、Fiery proServer の梱包箱に入っています。

接続は、以下のガイドラインを念頭に置いて行ってください。

- 必ず、所在地のコンセントタイプに適した電源ケーブルを使用してください。
- 出荷時のデフォルトでは、上側のイーサネットポートが DHCP 用に設定されており、IP アドレスを動的に要求できます。Fiery proServer を会社のネットワークに接続するには、上側のイーサネットポートを使用してください。
- 下側のイーサネットポートも DHCP 用に設定されています。Fiery proServer とインクジェットプリンターの両方が会社のネットワーク上に存在する場合、このポートはインクジェットプリンターへの接続に使用できます。

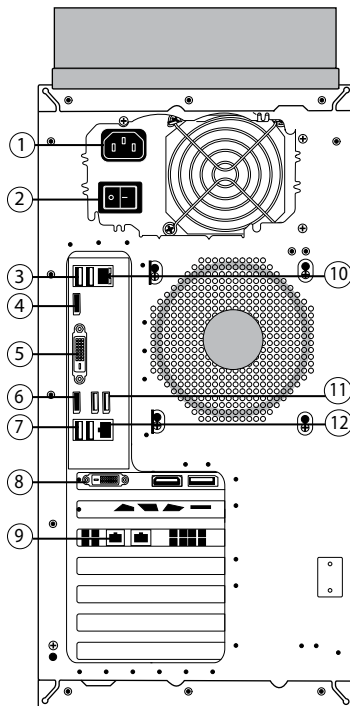
プリンターがネットワークを介して接続されている場合は、Fiery proServer Premium の設定に応じて専用の 1 GB または 10 GB ネットワーク接続を設定できます。

Fiery proServer Premium へのネットワークとプリンターの接続

Fiery proServer Premium には、背面パネルに2つのネットワークコネクタがあります。上側のネットワークコネクタは、Fiery proServer Premium をネットワークに接続するために使用します。下側のネットワークコネクタは、Fiery proServer Premium をプリンターに接続するために使用します。

Fiery proServer Premium の背面のコネクタは、システムによって外見が異なる場合があります。

- 1 Fiery proServer Premium の背面パネルにある上側のイーサネットコネクタにネットワークケーブルを差し込みます。
- 2 Fiery proServer Premium の背面パネルにある下側のイーサネットコネクタにプリンターケーブルを差し込みます。



1	電源コネクタ	9	オプションの 10 GB ネットワークカード
2	電源スイッチ <ul style="list-style-type: none"> • I - 電源オン • O - 電源オフ 	10	ネットワークポート（上部の RJ-45）
3	タイプ A USB2.0 ポート（x2）	11	タイプ A USB3.0 ポート（x2）
4	ディスプレイポート（オプションのモニター用）	12	ネットワークポート（上部の RJ-45）
5	DVI ポート（オプションのモニター用）		
6	ディスプレイポート（オプションのモニター用）		

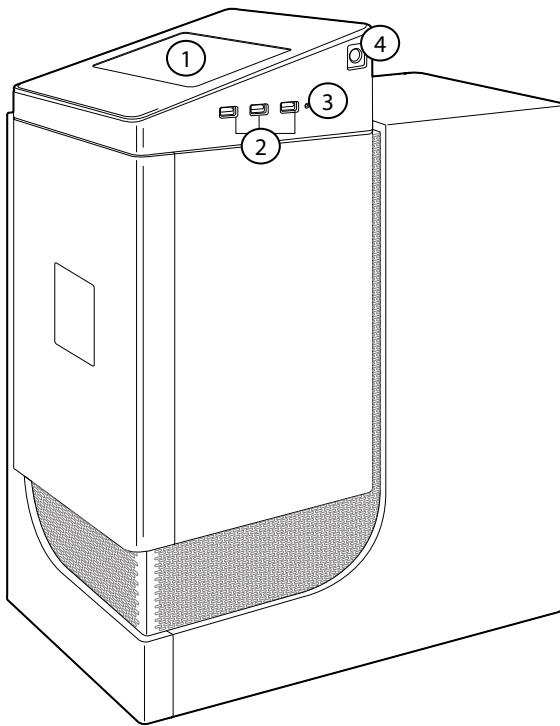
7	タイプ A USB2.0 ポート (x2)		
8	加速用グラフィックボード (グラフィックボードにケーブルは接続しないでください)		

メモ：Fiery proServer Premium のネットワークカード構成が 10 GB の場合は、Cat.7 ケーブルを使用します。Cat.7 ケーブルはプリンターに直接接続する必要があります。

これで Fiery proServer の電源を入れることができます。

Fiery proServer Premium の前面パネル

図は Fiery proServer Premium の前面パネルおよび側面パネルを示しています。



- 1 Fiery QuickTouch LCD 3 リセットボタン (サービス担当者のみが操作できます)
- 2 USB 3.0 ポート (x3) 4 電源ボタン

Fiery QuickTouch の使用について詳しくは、『設定ガイド』を参照してください。

Fiery QuickTouch

Fiery proServer Fiery proServer の前面にある Fiery QuickTouch LCD を使用して、Fiery proServer の終了、リポート、再起動、または LCD の明るさ設定の変更を行うことができます。

デフォルトでは、起動後、Fiery QuickTouch には**アイドル**と表示され、現在処理中のジョブがないことを示します。Fiery QuickTouch のメインメニューを表示するには、ディスプレイの右上にある省略記号アイコン (3 つのドット) を押します。

Fiery QuickTouch を使用するときには、次の注意事項を確認してください。

- 液晶ディスプレイ（LCD）の表面を押さないでください。
LCD に圧力を加えると、色が変化します。
- LCD の表面を拭くときは、レンズクリーナーで湿らせた柔らかい布を使用してください。
その他の溶剤（水など）を使用すると、LCD が損傷するおそれがあります。
- LCD の取り扱いには注意してください。
LCD が破損し、内部の液晶が漏れ出した場合は、触らないでください。液晶を触ってしまった場合は、すぐに石けんと水を使い、触れた箇所をよく洗ってください。

Fiery QuickTouch の状況メッセージとコマンド

Fiery QuickTouch では、状況メッセージとコマンドが表示されます。

状況メッセージ

Fiery QuickTouch では、次の状況メッセージが表示されます。

起動中	Fiery proServer が起動中です。
アイドル	Fiery server が起動されていますが、ジョブを処理していません。
使用中	Fiery server がジョブを処理しています。
Fiery サービスが応答していません	Fiery server が起動していません。

コマンド

Fiery QuickTouch には、4 つのコマンドがあります。コマンドを表示するには、ディスプレイの右上にある省略記号アイコン（3 つのドット）を押します。Fiery QuickTouch で対応するアイコンを押すと、コマンドを選択できます。

システム終了	Fiery proServer を終了します。
システムリブート	Fiery proServer を再起動します。
システム再起動	Fiery server を再起動します。このコマンドを選択すると、Command WorkStation への接続が自動的に中断されます。
明るさ	Fiery QuickTouch LCD の明るさを調整できます。また、このコマンドを使用すると、Fiery QuickTouch が非アクティブのときにディスプレイを暗くすることもできます。

Fiery proServer を起動、終了、リブートする

このセクションでは、必要に応じて Fiery proServer を起動、終了、リブートする方法について説明します。

メモ：必ず、以下の手順に従ってください。Fiery proServer の側面にあるリセットボタンを使用してシステムを終了またはリブートしないでください。

Fiery proServer の起動

Fiery proServer ハードウェアを設置しプリンターとネットワークに接続したら、Fiery proServer の電源を入れる準備ができました。

1 Fiery proServer の背面にある電源スイッチをオン (I) の位置に設定します。

2 Fiery proServer の電源を入れます。

ボタンを 1 回押して離すと、システムの電源がオンになります。電源で自動的に正しい電圧が検出されません。

3 管理者がモニタにログオンするときに、管理者パスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

Fiery proServer のシステム管理者のパスワードは、Fiery サーバーの背面に貼り付けられたラベルに記載されています。システム管理者のパスワードは、ラベルに印刷されたシリアル番号です。

図 1: Fiery サーバーコンプライアンスラベル



4 起動後、Fiery proServer のデスクトップがモニターに表示され、Fiery QuickTouch に**アイドル**と表示されるまで待ちます。

Fiery proServer の起動処理には、約 2 分かかります。Fiery proServer を初めて起動する場合は、インストール手順の一環として、Fiery XF server のライセンス登録が必要になります。詳しくは、[Fiery XF server ライセンスのアクティベート](#) (15 ページ) を参照してください。

デフォルトでは、Windows のタスクバーは表示されません。

このタスクバーには、次のものが表示されています。

- **Fiery Server Control** : Fiery XF server の起動と停止、Fiery Command WorkStation の起動、ライセンスの管理、ソフトウェアアップデートやメディアプロファイルへのアクセスを行う独立したアプリケーションです。
- **Fiery System Tools** : Fiery proServer のすべてのハードウェアおよびソフトウェアコンポーネントの言語の変更と Fiery proServer システムのバックアップおよび復元を実行するためのツールです。

5 Windows タスクバーを表示するには、次のいずれかを実行します。

- タスクバーを一時的に表示するには、ポインターを画面の下部に移動します。
- タスクバーを常に表示するには、タスクバーを右クリックし、**設定**をクリックします。タスクバータブで、**タスクバーをロックする**をオンに設定し、**デスクトップモードでタスクバーを自動的に隠す**をオフに設定します。

Fiery proServer の終了

Fiery proServer をオフにする場合は、アイドル状態になっている必要があります。

- 1 Command WorkStation がジョブを受信、処理、または印刷していないことを確認します。
システムで処理が完了したばかりの場合は、システムがアイドル状態になった後 5 秒以上待ってから、次の手順に進んでください。
- 2 Command WorkStation を終了します。**ファイル**メニューで、**終了**をクリックします。
- 3 Fiery QuickTouch のメインメニューで、**システム終了**を押します。
システムを完全に終了することができます。

Fiery proServer のリブート

Fiery proServer をリブートする場合は、アイドル状態になっている必要があります。

Fiery proServer に USB フラッシュドライブが取り付けられている場合は、再起動する前にそれを取り外します。そうしないと、Fiery proServer はリブートしません。

- 1 Command WorkStation がファイルを受信、処理、または印刷していないことを確認します。
システムで処理が完了したばかりの場合は、システムが**アイドル**状態になった後 5 秒以上待ってから、次の手順に進んでください。
- 2 Command WorkStation を終了します。**ファイル**メニューで、**終了**をクリックします。
- 3 Fiery QuickTouch のメインメニューで、**システムのリブート**を押します。
システムがリブートし、モニターにログインウィンドウが表示されるまで待ちます。
- 4 管理者パスワードを入力し、**Enter** キーを押します。
Fiery proServer のシステム管理者のパスワードは、Fiery サーバーの背面に貼り付けられたラベルに記載されています。システム管理者のパスワードは、ラベルに印刷されたシリアル番号です。

Fiery proServer の言語を変更する

Fiery proServer を初めて起動した場合、ログイン後にシステム言語を選択できます。デフォルトでは、システム言語は英語に設定されます。システム言語はいつでも変更することができます。

Fiery proServer が起動され使用可能な状態になっていることを確認します。

メモ：言語の変更には、完了までに最大 15 分かかります。言語の変更の進行中に中断することはできません。

言語の変更は、オペレーティングシステムおよびキーボード、Fiery Server Control、Command WorkStation に適用されます。

Command WorkStation には独自の言語設定があり、これは Fiery proServer に行われた言語設定よりも優先されます。詳細については、『クイックスタートガイド』を参照してください。

- 1 次のいずれかを行います。
 - Fiery proServer を初めて起動する場合、**EFI Fiery proServer 設定** ウィンドウで、**言語設定** をクリックし、画面の指示に従います。
 - 後で言語を変更する場合は、Windows タスクバーで Fiery System Tools を起動し、**システム言語の変更** をクリックし、画面の指示に従います。
- 2 Fiery proServer を再起動します。

Fiery XF server のソフトウェアをアップデートする

ソフトウェアのアップデートを確認し、使用しているソフトウェアが最新の状態であることを確認します。

ソフトウェアをアップデートするには、Fiery proServer をインターネットに接続する必要があります。コンピューターに最新バージョンのソフトウェアがインストールされていることを必ず確認してください。利用可能な無料のアップデートがある場合は、Fiery XF server ウィンドウの下部に通知が表示されます。この通知は、システムのアップデートが完了するまで表示されたままになります。

- 1 Fiery XF server と Command WorkStation を終了します。
- 2 タスクバーの **Fiery サーバーコントロール** アイコンをクリックし、**Fiery オンラインアップデーター** をクリックします。
Updater ダイアログボックスが表示されます。
- 3 **次へ** をクリックします。
現在入手可能なソフトウェアアップデートの一覧を示すダイアログボックスが表示されます。ここでは、利用可能なアップデートファイルが示され、ファイルサイズとバージョン番号に関する情報も表示されません。
- 4 インストールするアップデートのチェックボックスをオンにし、**次へ** をクリックします。
- 5 画面上の指示に従って、更新されたファイルをダウンロードし、インストールを完了します。
- 6 要求された場合は、コンピューターを再起動します。
詳しくは、『Fiery Command WorkStation のヘルプ』を参照してください。

Fiery XF server を起動する

Fiery XF server は、Fiery proServer を起動すると必ず自動的に起動します。何らかの理由で Fiery XF server を終了した場合は、再起動することができます。

- 1 Fiery Server Control を右クリックし、**Fiery サーバーを起動** をクリックします。
- 2 Fiery サーバーコントロールを右クリックして **Fiery Command WorkStation を起動** を選択するか、デスクトップにある Fiery Command WorkStation アイコンをダブルクリックします。
Command WorkStation では、**サーバー** メニューから **Server Manager** にアクセスして、ソフトウェアメンテナンスおよびサポート契約 (SMSA) やその他のソフトウェアライセンスの状況に関する情報を確認できます。**Server Manager** で、サーバーアイコンをクリックし、**ライセンス/契約** を選択します。

Command WorkStation の言語を変更する

Command WorkStation の言語を、サポートされている任意の言語に変更できます。

- 1 Job Center で、**編集 > 環境設定**をクリックします。
- 2 **地域**をクリックします。
- 3 言語を選択します。
- 4 **OK**をクリックします。
- 5 Command WorkStation を再起動します。

この設定は、オペレーティングシステム、キーボード、**Fiery Server Control** の言語には影響しません。これらの Fiery proServer コンポーネントの言語の変更については、『インストールガイド』を参照してください。

Fiery proServer システムのバックアップ/復元

Fiery proServer システムのバックアップを使用すると、問題が発生した場合に、Fiery proServer を以前の状態に復元できます。出荷時の設定に戻す必要はありません。

システムソフトウェアのバックアップおよび復元には、**Fiery System Tools** を使用できます。必要に応じて、メディアパック付属の USB メディアからシステムソフトウェアを再インストールすることもできます。

Fiery System Tools

Fiery System Tools には、Fiery proServer システムを管理するためのツールが用意されています。

Fiery System Tools には、次のメニューがあります。

コマンド	説明
システムをバックアップ	HDD のバックアップを、USB ドライブ、外付け HDD、ネットワーク上の場所などのデータ保存メディアに保存します。また、バックアップは、ローカル HDD のサブフォルダーに作成することもできます。
バックアップ履歴を表示	作成したバックアップの日時を表示します。
以前のバックアップからシステムを復元	HDD 上のすべてのデータを削除し、Fiery proServer をバックアップから以前の状態に戻します。
工場出荷時のデフォルト設定に復元	HDD 上の隠しパーティションから Fiery proServer を再インストールします。この操作により、システムデータはすべて失われます。
以前のシステムで作成したバックアップを復元	新しい Fiery proServer に既存のバックアップを復元します。
システムリカバリメディアを作成	システムの回復パーティションのブート可能コピーを、USB ドライブや外付け HDD などのデータ保存メディアに保存します。システム回復を使用すると、Fiery proServer を以前の状態に戻すことができます。たとえば、HDD を交換したのに利用可能なバックアップがない場合や、バックアップがネットワークファイル共有として存在する場合に使用します。

コマンド	説明
システム言語を変更	オペレーティングシステムとキーボード、Fiery Server Control および Command WorkStation の言語を変更します。
ネットワークファイル共有の設定ファイルを作成	バックアップと復元のためにアクセス情報を使用して共有ネットワークフォルダーを設定できます。
Eメール通知を設定	インストール、バックアップ、復元が完了した時点でEメール通知が送信されるように設定できます。このような処理には、1時間以上かかる場合があります。

Fiery proServer システムのバックアップ

Fiery proServer システムの設定が完了した時点でバックアップを作成し、約3か月ごとにバックアップを更新することをお勧めします。

- 1 Windows のタスクバーで、**Fiery System Tools** を起動します。
- 2 **システムをバックアップ**をクリックします。
- 3 次のいずれかのバックアップ先を選択します。
 - USB ドライブ
 - 外付け HDD
 - ネットワーク共有
 - ローカルハードディスクドライブのサブフォルダー

メモ：

データストレージメディアには 16 GB 以上 (32 GB を推奨) の容量が必要です。また、パーティションは 1 つだけにし、NTFS にフォーマットする必要があります。

- 4 **バックアップに Fiery ジョブファイルを含める**を選択します (オプション)。
ジョブファイルはバックアップできますが、**エクスポート**フォルダー内にある出力ファイルは、そのサイズの制約によりバックアップできないことに注意してください。
- 5 システムバックアップファイルを USB ドライブまたは外付け HDD に作成する場合は、デバイスを Fiery proServer の USB ポートに接続します。
- 6 **次へ**をクリックします。
- 7 **再起動**をクリックします。
システムが Windows に戻ると、バックアップ処理は完了です。

Fiery proServer の復元

Fiery proServer システムは、バックアップの作成時点で最新であったシステム環境を含む、すべての設定が復元されます。

バックアップの作成後に行われた設定は、すべて失われます。使用するバックアップメディアやジョブデータの量によっては、復元に最大1時間かかる場合があります。

- 1 以下のいずれかの場所からシステムバックアップファイルにアクセスできることを確認します。
 - USB ドライブ
 - 外付け HDD
 - ネットワーク共有
 - ローカルハードディスクドライブのサブフォルダー
- 2 システムバックアップファイルが USB フラッシュドライブまたは外部 HDD に保存されている場合は、デバイスを Fiery proServer の USB ポートに接続します。
- 3 Windows のタスクバーで、**Fiery System Tools** を起動します。
- 4 **以前のバックアップからシステムを復元**をクリックします。
- 5 復元するバックアップを選択し、**次へ**をクリックします。
ネットワーク共有内にバックアップを作成した場合は、**ネットワークを検索**をクリックします。ネットワーク上の場所とログオン情報を入力し、**OK** をクリックしてサーバーにログオンします。その後、復元するバックアップを選択します。
- 6 **続行**をクリックし、HDD 上のすべてのデータを消去することを確認します。
- 7 画面の指示に従って続行します。
手順が完了すると、Windows が自動的に起動します。バックアップ前に **Fiery server** がすでにライセンスされていた場合は、ライセンスを再アクティベートする必要はありません。

Fiery proServer を工場出荷時の状態に戻す

Fiery proServer を工場出荷時の状態に戻す必要があるのは、たとえば、デフォルトのパスワードを変更してその新しいパスワードを忘れた場合などです。Fiery server のライセンスと、システム環境を含むすべての Command WorkStation 設定が、HDD から削除されます。

再インストールを開始する前に、ライセンスアクティベーションコード (LAC) を書き留めてから、ライセンスをアクティベート解除してください。ライセンスをアクティベート解除しないと、システムソフトウェアの再インストール後にライセンスを再アクティベートできなくなります。ライセンスをアクティベート解除する方法については、『Fiery Command WorkStation のヘルプ』を参照してください。

すべての Fiery proServer は、Fiery System Tools アイコンがタスクバーにプレインストールされた状態で出荷されます。このツールを使用すると、システム設定をバックアップおよび復元したり、システムを工場出荷時の状態に戻したりできます。

Fiery proServer Premium を使用している場合は、Fiery System Tools からシステムソフトウェアを再インストールできます。詳細は、[USB メディアキットを使用した Fiery proServer Premium システムソフトウェアの再インストール](#) (15 ページ) を参照してください。

- 1 Windows のタスクバーで、**Fiery System Tools** を起動します。
- 2 **工場出荷時のデフォルト設定に復元**をクリックします。
- 3 **再起動**をクリックし、HDD 上のすべてのデータを消去して復元手順を開始することを確認します。

手順が完了すると、Windows が自動的に起動します。ここでシステムの言語を選択し、Fiery server ライセンスをアクティベートする必要があります。詳細については、『インストールガイド』を参照してください。

USB メディアキットを使用した Fiery proServer Premium システムソフトウェアの再インストール

USB メディアキットを使用してシステムソフトウェアを再インストールすることが出来ます。

再インストールを開始する前に、ライセンスアクティベーションコード (LAC) を書き留めてから、ライセンスをアクティベート解除してください。ライセンスをアクティベート解除しないと、システムソフトウェアの再インストール後にライセンスを再アクティベートできなくなります。ライセンスをアクティベート解除する方法については、『Fiery Command WorkStation のヘルプ』を参照してください。

以下に説明する手順は、Fiery proServer Premium 用です。USB メディアキット付属の USB ドライブを、USB 3.0 ポートのいずれかに接続する必要があります。Fiery proServer Premium システムソフトウェアの再インストールには最大 1 時間かかります。

メモ: システムソフトウェアを再インストールすると、システム管理者パスワードはシリアル番号にリセットされます。シリアル番号は、Fiery サーバーの背面に貼り付けられたラベルに記載されています。システム管理者のパスワードは、ラベルに印刷されたシリアル番号です。

1 次のいずれかを行います。

- Fiery proServer Premium を実行中の場合は、Command WorkStation を終了します。USB メディアキット付属の USB ドライブを、USB 3.0 ポートのいずれかに接続し、Fiery proServer Premium をリブートします。
- Fiery proServer Premium がフリーズするか応答しない場合は、システムの電源がオフになるまで、前面パネルにある電源ボタンを押し続けます。USB メディアキット付属の USB ドライブを、USB 3.0 ポートのいずれかに接続し、電源ボタンを押してシステムの電源を入れます。

システムが USB ドライブから起動するのを待ちます。これには数分かかります。

- 2 ドロップダウンリストボックスから言語を選択します。
ここで選択した言語を使用して、インストール手順が示されます。
- 3 実行する操作を尋ねられたら、**新規インストール**をクリックします。
- 4 **続行**をクリックし、HDD 上のすべてのデータを消去することを確認します。
- 5 画面の指示に従って続行します。

手順が完了すると、Windows が自動的に起動します。ここでシステムの言語を選択し、Fiery server ライセンスをアクティベートする必要があります。詳細については、『インストールガイド』を参照してください。

Fiery XF server ライセンスのアクティベート

Fiery proServer は Fiery XF server および Command WorkStation に付属しており、プリインストールされています。Fiery XF server に接続するには、ライセンスをアクティベートする必要があります。

- Fiery proServer が起動され使用可能な状態になっていることを確認します。
- Fiery proServer に付属する LAC (ライセンスアクティベーションコード) があることを確認してください。LAC は、ソフトウェアを有効にするのに必要です。アクティベート解除する場合に備えて、後で参照できるように LAC を保管してください。アクティベート後またはアクティベート中に LAC を選択してコピーし、テキスト文書に貼り付けた後、その文書をネットワークディレクトリまたは USB ドライブ上に保存します。

- **Fiery proServer 設定** ウィンドウで、**ソフトウェアのアクティベーション** をクリックし、画面の指示に従います。

Fiery Server Control での設定後、ライセンスを管理できます。アクティベート済みライセンスの内容を表示する方法、ライセンスをアクティベート解除する方法、ライセンスを別の **Fiery server** で再アクティベートする方法について詳しくは、『**Fiery Command WorkStation のヘルプ**』を参照してください。

ライセンスを管理する

この **Fiery server** の製品または製品オプションは、いつでもアクティベートまたはアクティベート解除することができます。

ライセンスアクティベーションコード (LAC) が手元にあることを確認します。最初にアクティベートするときに、アクティベート解除する場合に備えて、後で参照できるように必ず LAC を保管しておいてください。アクティベート後またはアクティベート中に LAC を選択してコピーし、テキスト文書に貼り付けた後、その文書をネットワークディレクトリまたは USB ドライブ上に保存します。

- 1 タスクバーで : **Fiery Server Control** を右クリックし、**ライセンスの管理** をクリックします。
ライセンスアクティベーション ウィンドウが開きます。
- 2 次のいずれかを行います。
 - この **Fiery server** の製品または製品オプションをアクティベートするには : **アクティベート** をクリックします。
 - 製品または製品オプションをアクティベート解除するには : **アクティベート解除** をクリックします。

メモ :

別の **Fiery server** 上でアクティベート解除されたライセンスをアクティベートすることができます。ライセンスをアクティベート解除する前に、LAC を書き留めておきます。書き留めるのを忘れた場合、LAC は、**ライセンスアクティベーション** ウィンドウの **履歴** タブにも記録されています。

- 3 画面の指示に従ってください。
- 4 **Fiery server** を再起動します。

[こちらのビデオ](#)を参照してください。

アクティベートされたライセンスの内容を表示するには、**製品/オプション**列でライセンス名を展開します。

ウイルス対策ソフトウェア

Fiery proServer には、アンチウイルスソフトウェアがプリインストールされていません。顧客との間でファイル交換が定期的に行われる生産環境では、任意のウイルス対策プログラムをインストールすることを強くお勧めします。

ウイルス対策プログラムをインストールする際は、**Command WorkStation** の特定の機能に必要なネットワークポートがブロックされていないことを確認します。詳細については、『**インストールガイド**』を参照してください。

Fiery proServer のトラブルシューティング

Fiery proServer が意図したとおりに動作していない場合は、インストールと接続が正しく行われていることを確認します。本書では、設定およびネットワークに関する一般的な問題が発生した場合の解決策を示しています。

Fiery proServer の設定および接続を確認しても解決しない場合は、システムソフトウェアの破損が問題の原因になっている可能性があります。その場合は、**Fiery proServer** システムを以前の状態に復元します。詳細は、**Fiery proServer を工場出荷時の状態に戻す** (14 ページ) を参照してください。

Fiery proServer または Command WorkStation で作業中に問題が発生した場合は、Fiery コミュニティ (<https://communities.fiery.com>) をご利用ください。Fiery コミュニティでは、解決策を見つけたり、アイデアを共有したり、Fiery のグローバルなエキスパートコミュニティと製品に関して議論したりできます。

Fiery proServer の設定を確認する

このセクションでは、Fiery proServer の設定の誤りが原因で問題が発生しないようにするための、簡単なチェックについて説明します。

Fiery proServer は正常に起動するか

起動中のビープ音は、メモリに問題があることを示している可能性があります。

4 回のビープ音の後に、3 回のビープ音、1 回のビープ音、および 2 回のビープ音が続けて聞こえた場合は、認定サービス/サポートセンターにお問い合わせください。

Fiery XF server は実行中か

Fiery Server Control アイコンは、Windows のタスクバーにあります。Fiery XF server が実行中の場合は、緑の背景に白い矢印が表示されます。

Fiery Server Control で赤の背景に白いボックスが表示される場合、サーバーが実行されていないことを意味します。この場合は、以下を試します。

- ライセンスが正しくアクティベートされていない可能性があります。LAC の入力を求めるダイアログボックスが表示されます。
- 不正なソフトウェアが Fiery proServer にインストールされていないことを確認します。

サードパーティのアプリケーションはサポートされていないため、システムの問題を引き起こすことがあります。ウイルス対策ソフトウェアを Fiery proServer で使用することはできませんが、ウイルススキャンを実行するのは、Fiery proServer が**アイドル**モード (ジョブの処理や印刷を実行していない状態) の場合だけにしてください。

プリンターへの接続は正しく設定されているか

プリンターにテストジョブを送信して、接続をテストします。

次の方法を試してください。

- テストジョブを **Command WorkStation** にロードし、プリンターに送信します。
- プリンターを再起動します。
問題が解決しない場合は、プリンターのテストや修理が必要になることがあります。詳しくは、プリンター付属の取扱説明書を参照してください。
- 問題の原因が特定の印刷ジョブやアプリケーションではないことを確認します。
 - **Command WorkStation** から別のジョブを印刷してみます。
 - 別のアプリケーションからジョブを印刷してみます。

ネットワークが機能しているか

ネットワークに問題があるか、Fiery proServer が正しくネットワークに接続されていない可能性があります。

次の点を確認してください。

- Fiery proServer がネットワーク上のコンピューターのリストに表示されている。
Fiery proServer がネットワーク上のコンピューターのリストに表示されていない場合は、ネットワーク上の別のデバイスと同じイーサネットハードウェアアドレスが割り当てられている可能性があります。
- Fiery proServer の DHCP 設定がネットワークの DHCP 設定と一致している。
モニターに DHCP エラーメッセージが表示される場合は、Fiery proServer が存在しない DHCP サーバーを検索している可能性があります。Fiery proServer で DHCP はデフォルトで有効になっていますが、顧客のネットワークで DHCP が使用されていないことがあります。この場合、Fiery proServer に静的 IP アドレスを設定する必要があります。ネットワークブリッジの詳細については、『インストールガイド』を参照してください。
問題が解決しない場合は、インターフェイスの接続を確認してください。詳細は、[インターフェイス接続の確認](#) (20 ページ) を参照してください。

隠しファイルを表示する設定が選択されているか

特定のトラブルシューティングのために、ProgramData フォルダー内のファイルにアクセスできる必要があります。

- 1 **コントロールパネル**を開き、小さいアイコンを表示するように設定します。
- 2 **エクスプローラーのオプション**をクリックし、**表示タブ**をクリックします。
- 3 **詳細設定**で、**ファイルおよびフォルダー > ファイルとフォルダーの表示**を選択し、**隠しファイル**、**隠しフォルダー**、および**隠しドライブを表示する**をクリックします。
- 4 **登録されている拡張子は表示しない**の選択を解除します。
- 5 **OK**をクリックして変更を確定します。

JobFolder フォルダーは共有されているか

ホットフォルダーにアクセスできるようにするには、JobFolder フォルダーを共有する必要があります。

- 1 JobFolder を右クリックし、**プロパティ**をクリックします。
JobFolder は C:\ProgramData\EFI\EFI XF\Server にあります。
- 2 **共有**タブで、**詳細な共有**をクリックします。
- 3 **このフォルダーを共有する**を選択し、**アクセス許可**をクリックします。
- 4 **Everyone**を選択し、アクセス許可のレベルを**読み取りおよび変更**に設定します。次に、**適用**をクリックします。
- 5 **OK**をクリックして変更を確定し、すべてのウィンドウを閉じます。

出力フォルダーまたはエクスポートフォルダーが共有されているか

Fiery proServer からの印刷ファイルをプリンターが取得できるようにするために、出力フォルダーおよびエクスポートフォルダーを共有する必要があります。

どちらのフォルダーが使用されるかは、設定したプリンターによって異なります。多くの EFI プリンターでは、エクスポートフォルダーに印刷ファイルを作成するのに対して、その他の製造元のプリンターでは、ほとんどの場合、出力フォルダーに印刷ファイルを作成します。

- 1 フォルダーを右クリックし、**プロパティ**をクリックします。
Fiery proServer のモデルに応じて、フォルダーの場所は D:\または E:\ドライブになります。
- 2 **共有**タブで、**詳細な共有**をクリックします。
- 3 **このフォルダーを共有する**を選択し、**アクセス許可**をクリックします。
- 4 **Everyone**を選択し、アクセス許可のレベルを**読み取りおよび変更**に設定します。次に、**適用**をクリックします。
- 5 **OK**をクリックして変更を確定し、すべてのウィンドウを閉じます。

インターフェイス 接続の確認

Fiery proServer の背面の接続不良が原因で問題が発生しないようにするための簡単なチェックを実行できます。

次の点を確認してください。

- システムのすべてのコンポーネントおよびインターフェイスケーブルが、Fiery proServer の背面にある適切なポートにしっかりと接続されていること。接続を確認したら、Fiery proServer をリブートします。
Fiery proServer の背面にある適切なポートと接続の図については、『インストールガイド』を参照してください。
- 電源ケーブルがコンセントに差し込まれ、Fiery proServer の電源がオンになっていること。
詳細については、『インストールガイド』を参照してください。Fiery proServer が起動しない場合は、電源ケーブルを新品またはテスト済みのケーブルに交換してみます。
- ネットワークポートの横にある上部 LED ランプが点灯または点滅して、ネットワークが作動していることを示していること。
上部 LED が消灯している場合は、ネットワークケーブルが、Fiery proServer の正しいネットワークポートおよびカスタマーのネットワーク上のネットワークデバイスに正しく接続されていることを確認します。問題が解決しない場合は、ネットワークケーブルを新品またはテスト済みのケーブルに交換してみます。

破損したシステムソフトウェアのトラブルシューティング

Fiery proServer の設定と接続を検証しても問題が解決しない場合は、システムソフトウェアの破損が問題の原因になっている可能性があります。

問題を修正するには、Fiery proServer システムを以前の状態に復元します。[Fiery proServer を工場出荷時の状態に戻す](#) (14 ページ) を参照してください。

取扱説明書のダウンロード

Fiery proServer の取扱説明書はすべて、いつでもアクセスしてダウンロードできます。

Fiery proServer の取扱説明書の構成内容は次のとおりです。

- 『インストールガイド』(本書) : Fiery proServer のインストールと接続、およびライセンスのアクティベーションを行う方法を説明しています。
多言語版の印刷物が付属品の箱に入っており、オンラインでも提供されています。
- 『設定ガイド』 : Command WorkStation の設定方法と、使用している Fiery proServer の動作状態を正常に保つ方法を説明しています。
多言語版がオンラインで提供されています。

- 『クイックスタートガイド』: **Command WorkStation** を **EFI** インクジェットプリンターと一緒に日々の作業で使用する方法についてのステップバイステップガイドです。
印刷物（英語版のみ）が付属品の箱に入っています。また、多言語版がオンラインで入手可能です。
 - 『アップグレードガイド』: 以前のバージョンのソフトウェアからアップグレードする方法について説明します。
多言語版がオンラインで提供されています。
- 1 Fiery proServer デスクトップの **Adobe** アイコンをダブルクリックして **Adobe** ウェブサイトを開き、**Adobe Reader** をダウンロードします。
Fiery proServer の取扱説明書は **PDF** 形式で提供されているため、アクセスするには **Adobe Reader** が必要です。
 - 2 任意の **Web** ブラウザーを開き、help.fiery.com にアクセスします。
 - 3 使用している製品のバージョンや言語のリンクをクリックし、最新の取扱説明書をダウンロードします。

Fiery XF server のオンラインヘルプ

Fiery XF server には、包括的なヘルプシステムがあります。

- このアプリケーションヘルプでは、ソフトウェアの各機能の設定方法や使用方法に関する詳細な情報を確認できます。CWS で、**ヘルプ**メニューの**ヘルプ**を選択します。

